

平成21年度 八重瀬町地球温暖化対策実行計画 調査結果

1. 計画の位置づけ

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第1項に定める「地方公共団体実行計画」に基づくものであり、八重瀬町の事務及び事業に関し、省エネルギーや省資源化等温室効果ガスの排出抑制のための措置に関する計画を策定するとともに、当該措置を実施し、町民や事業者の意識の高揚を図り、地球温暖化対策を積極的に推進することを目的とします。

平成21年度は計画期間の初年度に当たる重要な年であり、今後の取り組みにおいても大きな影響があります。今回、平成21年度の取り組み結果に基づく温室効果ガス排出量の集計がまとまりましたので次のとおり報告いたします。

2. 計画期間及び目標

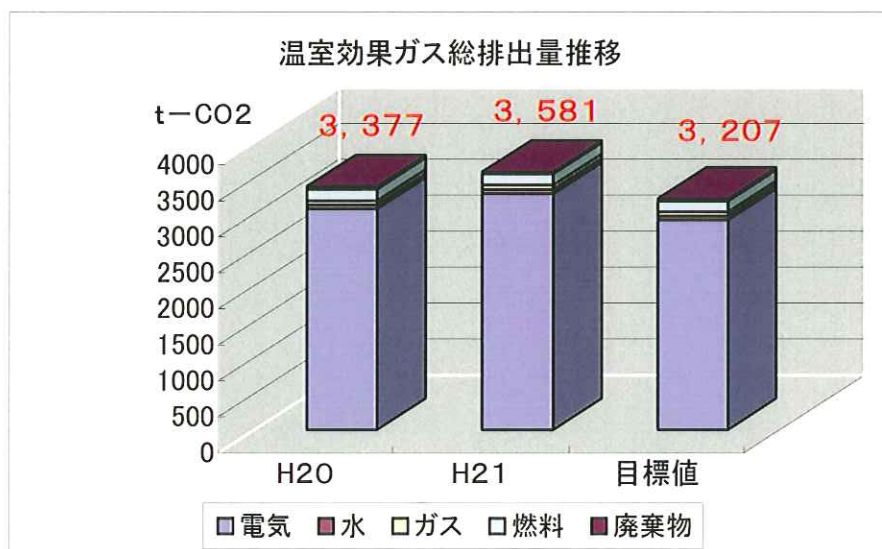
本計画の期間は、平成21年度を初年度とし平成25年度までの5年間としています。また基準年は平成20年度とし、平成25年度までに基準比で5%削減する事を目標としています。

	平成20年度(基準)	5%削減	平成25年度(目標)
排出量	3,377 t-CO ₂	➡	3,208 t-CO ₂

3. 達成状況

(1) 総排出量における比較

本町における平成21年度温室効果ガス排出量は、**3,581** t-CO₂です。基準年における排出量と比較すると、およそ**6%**の増加となっております。



(2) 個別の措置による比較

① 電気の使用に伴う排出量

【結果】基準年度と比較すると、およそ6%増加

電気の使用に伴う温室効果ガス排出量

平成20年度 (基準年)	平成21年度		平成25年度 (目標値)
	削減対象	基準年度比	
3,065 t-CO2	3,277 t-CO2	6%	2,912 t-CO2

② ガスの使用に伴う排出量

【結果】基準年度と比較すると、およそ8%増加

ガスの使用に伴う温室効果ガス排出量

平成20年度 (基準年)	平成21年度		平成25年度 (目標値)
	削減対象	基準年度比	
58 t-CO2	63 t-CO2	8%	55 t-CO2

③ 水の使用に伴う排出量

【結果】基準年度と比較すると、およそ2%増加

水の使用に伴う温室効果ガス排出量

平成20年度 (基準年)	平成21年度		平成25年度 (目標値)
	削減対象	基準年度比	
56 t-CO2	57 t-CO2	2%	53 t-CO2

④ 公用車の使用に伴う排出量

【結果】基準年度と比較すると、およそ4%削減

公用車燃料使用量に伴う温室効果ガス排出量

平成20年度 (基準年)	平成21年度		平成25年度 (目標値)
	削減対象	基準年度比	
161 t-CO2	155 t-CO2	-4%	153 t-CO2

⑤ 廃棄物焼却時に伴う排出量

【結果】基準年度と比較すると、およそ20%削減

廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量

平成20年度 (基準年)	平成21年度		平成25年度 (目標値)
	削減対象	基準年度比	
36 t-CO2	29 t-CO2	-20%	34 t-CO2

4、 結果分析

(1) 主因

達成状況のとおり、八重瀬町役場では基準年度と比較して温室効果ガス排出量は、およそ6%の増加となっております。

更に、個別の措置による比較から判断すると、本町においては、電気使用量に伴う温室効果ガス排出量の割合が大きく、増加傾向にあるため最も重点的に取り組む必要があると考えられます。

廃棄物や公用車燃料については、減少している。廃棄物においては、生ゴミ堆肥化事業による給食センターから出る生ゴミの削減が大きな要因と考えられます。

5、今後の取り組みについて

今回の取り組み結果では、基準年度比6%の増加になりました。その増加の主な原因が電気使用量の増加にあることから、電気使用量の削減を徹底的におこなうべきである。

職員による取り組みとして考えられる例

- ・不必要な電気製品の電源オフ
- ・事務の効率化を図り、毎月第2・第4のノーザン業デーには、19時には全庁舎一斉消灯を行う
- ・昼休み、不必要時の消灯の徹底
- ・退庁時の電源オフの徹底
- ・職員同士による節電への意識の訴えかけ

機器等を導入する事による温室効果ガス排出量削減の取り組み

- ・先進的な省エネ機器(例:LED照明など)の導入や、ESCO事業の導入などを推進します